

① 中国日本友好協会のホームページ 2011-10-9 付

井頓泉副会長が日本の杏林大学理事長と会見

10月8日、井頓泉副会長は北京で、来訪された日本の杏林大学松田博青理事長一行と会見した。双方は、中日両国の人文分野での交流と協力をいっそう深めていくことについて意見交換した。

② 北京語言大学のホームページ記事 2011-10-10 付

日本の杏林大学松田博青理事長を本学の名誉教授として招聘

国際協力交流処 崔彩霞 2011年10月10日

10月8日午後、北京語言大学は日本の杏林大学松田博青理事長を名誉教授としてお迎えする授与式を逸夫楼第一会議室で盛大に開催した。

式上、崔希亮学長は松田博青理事長に対し名誉教授証書を授与し、松田博青理事長はその場でスピーチを行われた。松田博青理事長は、会場にいた日本語学科の学部生たちの日本語を学ぶきっかけについて興味深そうに耳を傾け、学生たちの話す流暢な日本語を称えた。同時に、学生たちに、母語や自国の文化をしっかりと学び、外国語を習得して、文化交流の使者となるよう激励し、中日友好交流の志のある学生が杏林大学に研修に来ることを歓迎すると述べられた。

崔希亮学長は松田博青理事長の来訪に心からの歓迎の意を表し、本学の名誉教授になられたことに対して感謝の意を表した。崔希亮学長は松田博青理事長の学術研究業績を大いに称え、理事長に本学の特色と歴史について紹介した。崔学長は、本学では卒業生の中で、中国駐在の外国大使になった者はすでに18名にのぼるが、中国側の外国駐在大使はまだ出していないことに触れ、外国語学部の学生がいっそう勉学に励み、志を高く持つことを切実に願っていると言及した。崔学長はまた、日本語学科の学生に、杏林大学への研修に積極的に参加するように勧め、この度、松田博青理事長を本学の名誉教授としてお迎えできたことをきっかけに杏林大学との友好交流を引き続き深めていきたいと述べた。

松田博青理事長ご自身は、日本の救急医療において高いプレステージを持たれ、学術上の造詣も極めて深い方である。日本の救急医療の第一人者として、松田博青理事長は中国衛生部の委託により、中国の若手医師の養成研修も受け入れている。同時に松田博青理事長は日本私立大学協会常務理事を兼務され、長年に渡り日本の私立大学の指導的な立場におられる方である。中日友好交流の使者として、松田博青理事長は中日同時通訳者の養成

事業をたいへん重視され、杏林大学では外国語学部に中日同時通訳専攻を開設され、日本で初めて同時通訳専攻においての修士・博士課程を設立されたのである。

授与式の司会は、国際協力交流処の趙偉民処長によって行われ、日本の杏林大学教授で北京語言大学客員教授である塚本慶一教授、北京語言大学威徳祥副学長、外国語学部陸薇副学部長、日本語学科関立丹教授、大学院劉現強副主任、教務処高玉峰副処長、学術研究処居峰副処長ならびに外国語学部の教員、学生の代表が出席した。

③ 北京語言大学のホームページ写真のキャプション 2011-10-10 付

日本の杏林大学松田博青理事長を本学の名誉教授として招聘

撮影担当：視聴覚センター

10月8日午後、北京語言大学は日本の杏林大学松田博青理事長を名誉教授としてお迎えする授与式を逸夫楼第一会議室で盛大に開催した。

式上、崔希亮学長は松田博青理事長に対し名誉教授証書を授与し、松田博青理事長はその場でスピーチを行われた。

授与式には、日本の杏林大学教授で北京語言大学客員教授である塚本慶一先生、北京語言大学威徳祥副学長、外国語学部陸薇副学部長、日本語学科関立丹教授、大学院劉現強副主任、教務処高玉峰副処長、学術研究処居峰副処長ならびに外国語学部の教員と学生の代表が出席した。授与式の司会は、国際協力交流処の趙偉民処長によって行われた。

写真1：崔希亮学長は松田博青理事長に対し名誉教授証書を授与

写真2：松田博青理事長のスピーチ

写真3：授与式の会場